

2. 対照表

教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

- 〈第1号〉 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
○さまざまな音色や響きと奏法	・教科書で扱う多様な楽器と演奏家を掲載し、生徒の豊かな情操の育成に配慮しました。(第1号)	・①～②
○中学生のみなさんへ	・演奏家による言説が、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づいている点を重視しました。(第3号)	・③
○演奏の仕方を身につけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取りながら表現するための基礎的な知識と技能が身につくよう配慮しました。(第1号) ・身体的に無理なく健やかに楽器を演奏できるよう配慮しました。(第1号) ・生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うよう配慮しました。(第2号) ・演奏家からのメッセージを掲載し、個人の価値を尊重するとともに、職業としての音楽家を意識できるよう配慮しました。(第2号) ・我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。(第5号) ・和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるよう配慮しました。(第5号) ・和楽器と洋楽器を比較し、特徴や共通点と相違点を考える手立てとしました(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.4～26, p.28～52, p.54～59 ・p.5, 19, 24, 28, 38, 44, 56～59, ・p.4～26, p.28～52, p.54～59 ・p.4, 18, 24, 28, 36, 44, 54 ・p.14, 22, 25, 40, 41, 49 ・p.18～26, p.36～52, p.54～59 ・p.26, p.52

<p>○合わせて演奏しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取りながら表現するための基礎的な知識と技能が身につくよう配慮しました。(第1号) ・生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うよう配慮しました。(第2号) ・自ら器楽表現を工夫することや他者と交流しながら小集団や学級としての表現をつくることができるように配慮しました。(第3号) ・美しい自然をイメージして演奏することで、環境の保全を意識する手立てとしました。(第4号) ・大震災復興記念事業から生まれた作品を演奏することで、生命を尊び環境の保全を意識する手立てとしました。(第4号) ・我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。(第5号) ・和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるよう配慮しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.60～93 ・p.60～93 ・p.60～93 ・p.68～69 ・p.86～87 ・p.60～61, p.70, p.78～83 ・p.68～70, p.78～87, p.92～93
<p>○名曲旋律集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取りながら表現するための基礎的な技能が身につくよう配慮しました。(第1号) ・生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うよう配慮しました。(第2号) ・我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。(第5号) ・和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるよう配慮しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.94～97 ・p.94～97 ・p.97 ・p.97
<p>○資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識を身につけられるよう配慮しました。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.98～99, ④～⑥

《弾く楽器》

ギター

そう 箏(こと)

しゃ み せん 三味線

ギターは主としてクラシック・ギターを扱い、基本的な知識と技能を習得します。また、タブ譜の読み方を理解できるようにしました。箏と三味線は適宜、唱歌を表記しました。箏は箏曲「六段の調」（三段の冒頭）に挑戦しますが、弾き方については、まなびリンクにアクセスして動画で確認できます。

箏曲「六段の調」に挑戦!

八橋検校が作曲したと伝えられている箏曲「六段の調」は、六つの段(部分)からなります。その中から三段の冒頭8拍分を弾いてみましょう。

平調子(一の弦をホ音で) 三段 楽譜と演奏イメージ

1 拍体みます。 サララン... 箏という奏法を表現する。角爪で弾く場合、まず人さし指を親指で支え、手首を振って一の弦を「サー」と弾くように... 5 弾く時は親指が弾く弦は、七、六でも、七、六でも、どちらでもかまいません。(写真は七、六を弾く場合)

▲p.43

《打つ楽器》

たい こ 太鼓

打つ楽器はわが国の太鼓の他、資料として小太鼓、大太鼓、ボンゴ、コンガ、カホンを紹介しています。

太鼓 かまえ方と打ち方

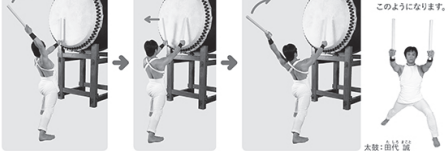
かまえ方と打ち方

太鼓には演奏される地域や流派の種類によって、さまざまなかまえ方、打ち方がありますが、基本として、太鼓の中心付近をよく響く部分に向かって打ち込みます。

姿勢がまね

太鼓に対して体が正面を向いたかまえ方です。

長胴太鼓をやくら台に置いた場合



長胴太鼓の場合、手首だけを使って打とうとすると、皮の反動に負けてしまいます。写真のように脚全体を大きく振り、全身を使って打つようにしましょう。

長胴太鼓を伏せ台に置いた場合

▲p.56

打楽器

小太鼓 (スネアドラム)

小太鼓はヘッド(鼓面)の中央付近を打つとしっかりとしめ響る音がします。



▲p.98

何が同じで、何が違う?

吹く楽器と弾く楽器の区切りの部分に設置。各楽器を比較しながら主体的・協働的に特徴をまとめていくページです。

弾く楽器の区切り

何が同じで、何が違う? PART-2 楽譜と演奏イメージ

▲p.52

合わせて演奏しよう

アルト・リコーダー二部合奏「もみじ」やソプラノ・リコーダー二部合奏「故郷の人々」など、比較的平易な合奏曲を集めたLet's Play! と、グレードを上げたLet's Try!, そして、創作教材 音のスケッチで構成しています。音のスケッチ「不思議な旋律 PART-1, 2」「楽器と唱歌によるパッチワーク」などでは、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者との協働を促します。

「手」の構成を工夫してお囃子を創作する

楽器と唱歌によるパッチワーク 楽譜と演奏イメージ

▲p.92-93

名曲旋律集

素材となる名曲は、鑑賞教材や歌唱共通教材として親しまれている教材などから精選しました。

【掲載曲(抜粋)】

- 赤とんぼ
●シューベルトの子守歌
●冬(ヴィヴァルディ)
●ブルタバ(モルダウ)
●ボレロ
●交響曲第5番(ベートーヴェン)
●凱旋の行進曲

カノン2	p.13							○	○	○									○	○	
きらきら星	p.14							○	○	○	○	○								○	○
浜辺の歌	p.14	○	○		○			○	○	○	○									○	○
威風堂々	p.15							○	○	○	○	○								○	○
カノン3	p.15							○	○	○	○	○								○	○
大きな古時計	p.16							○	○	○	○	○								○	○
ブランデンブルク協奏曲 第2番から 第2楽章	p.17							○	○	○	○	○								○	○
ブランデンブルク協奏曲 第2番から 第2楽章 (鑑賞)	p.17																		○	○	○
ブランデンブルク協奏曲 第4番から 第1楽章	p.17																		○	○	○
たこたこあがれ	p.20	○		○	○			○	○	○	○									○	○
ひらいたひらいた	p.20	○		○	○			○	○	○	○									○	○
さくらさくら (篠笛)	p.21							○	○	○	○									○	○
子守歌	p.22	○	○		○			○	○	○	○									○	○
祭囃子	p.22							○	○	○	○	○								○	○
もういいかい	p.25	○		○	○			○	○	○	○									○	○
長唄「越後獅子」	p.26																		○	○	○
尺八曲「鹿の遠音」	p.26																		○	○	○
アニー・ローリー	p.31							○	○	○	○									○	○
Happy Birthday to You	p.31							○	○	○	○									○	○
カリンカ	p.33							○	○	○	○	○								○	○
ラ・グンバルシータ	p.34							○	○	○	○	○								○	○
練習曲1	p.39							○	○	○	○	○								○	○
練習曲2	p.39							○	○	○	○	○								○	○
さくらさくら (箏)	p.40	○	○		○			○	○	○	○									○	○
荒城の月	p.41	○	○		○			○	○	○	○									○	○
「荒城の月」の前奏をつくってみよう	p.42																		○	○	○
箏曲「六段の調」に挑戦!	p.43							○	○	○	○									○	○
さくら変奏曲	p.43																		○	○	○
開放弦の練習	p.47							○	○	○	○									○	○
さくらさくら (三味線)	p.49	○	○		○			○	○	○	○									○	○
スクイ、ハジキ、打ち指の練習	p.50							○	○	○	○									○	○
長唄「勸進帳」から 寄せの合方(鑑賞)	p.50																		○	○	○
長唄「勸進帳」から 寄せの合方	p.51							○	○	○	○	○								○	○
アランプラ(アルハンブラ)の思い出	p.52																		○	○	○
基本のリズムを打ってみよう	p.59							○	○	○	○									○	○
もみじ	p.60	○	○		○			○	○	○	○	○								○	○
故郷	p.61	○	○		○			○	○	○	○	○								○	○
故郷の人々	p.62	○	○		○			○	○	○	○	○								○	○
シチリアーナ	p.63							○	○	○	○	○								○	○
カントリー・ロード	p.64	○	○		○			○	○	○	○	○								○	○
木星	p.66~67							○	○	○	○	○								○	○
一番星みつけた/夜空を見上げて	p.68~69							○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○
荒城の月 (箏二部)	p.70							○	○	○	○	○	○							○	○
不思議な旋律 PART-1	p.71							○	○	○	○	○	○	○	○					○	○
キエフの大門	p.72							○	○	○	○	○	○							○	○
風のとおり道	p.73							○	○	○	○	○								○	○
風笛	p.74							○	○	○	○	○								○	○
春	p.75							○	○	○	○	○								○	○
メヌエット	p.76							○	○	○	○	○								○	○
不思議な旋律 PART-2	p.77							○	○	○	○	○	○	○	○					○	○
さくらさくら (箏二部)	p.78~79, 82							○	○	○	○	○								○	○
こきりこ節	p.80~81, 83							○	○	○	○	○								○	○
もののけ姫	p.84~85							○	○	○	○	○								○	○
千の海響 望の章	p.86~87							○	○	○	○	○	○	○	○					○	○
ライディーン	p.88~89							○	○	○	○	○								○	○
ジョイフル コンビネーション1, 2	p.90~91							○	○	○	○	○								○	○
楽器と唱歌によるパッチワーク	p.92~93							○	○	○	○	○	○	○	○					○	○
シューベルトの子守歌	p.94							○	○	○	○	○								○	○
プルタバ (モルダウ)	p.94							○	○	○	○	○								○	○
冬	p.94							○	○	○	○	○								○	○
組曲「展覧会の絵」	p.95							○	○	○	○	○								○	○
交響曲第5番 八短調	p.95							○	○	○	○	○								○	○
交響組曲「シェラザード」	p.95							○	○	○	○	○								○	○
ポレロ	p.96							○	○	○	○	○								○	○
凱旋の行進曲	p.96							○	○	○	○	○								○	○
赤とんぼ	p.97	○	○		○			○	○	○	○	○								○	○
グリーンスリーブス	p.97							○	○	○	○	○								○	○

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-5	中学校	音楽科	音楽 (器楽合奏)	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	器楽 751	中学器楽 音楽のおくりもの		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
27	吹く楽器の仲間たち	2	○内容の取扱い 2-(3)-イ 各学年の「A表現(2)器楽」の指導 (上記の項目では、指導上の必要に応じて用いる楽器について記されているが、本コーナーでは、管楽器及び世界の諸民族の楽器の、背景にある文化や伝統、構造について調べる学習とした)	1
53	弾く楽器の仲間たち	2	○内容の取扱い 2-(3)-イ 各学年の「A表現(2)器楽」の指導 (上記の項目では、指導上の必要に応じて用いる楽器について記されているが、本コーナーでは、世界の諸民族の楽器の、背景にある文化や伝統、構造について調べる学習とした)	1
合 計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容